単施設用

研究実施についてのお知らせ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成　30　年 5 月　16　日

【研究課題名】

当院における鈍的大動脈損傷に対する大動脈ステント留置と人工血管置換の成績比較

【研究期間】

1984年3月〜2018年3月

【研究対象】

1984年3月から2018年3月までに鈍的大動脈損傷に対して人工血管置換術あるいは大動脈ステント留置術を施行した症例

【研究目的・意義】

外傷性大動脈損傷に対しては、従来人工血管置換術が行われてきたが、約10年前より同疾患に対するステントグラフト内挿術(TEVAR)も施行されるようになってきた。一般的には人工血管置換術は侵襲が大きい反面、根治性が高く、TEVARに関しては低侵襲であるが、その予後に関しては不透明な部分が多いという認識がある。双方の成績を比較した文献はまだ少なく、特に長期予後に関しては不透明な状態である。そのため各々の治療法選択に関しては確立したエビデンスはない。今回当院での人工血管置換術とTEVARの成績比較をoutcomeを病院死亡とし、これに関連する因子を統計解析で特定し、各々の治療法選択に関する新たな知見を得るのを目標とする。

【研究方法】

過去30年間のカルテ情報を分析する予定であり、長期予後を調査するためには追加で患者及び御家族へ電話にて御存命か否か、場合によっては生存期間の確認が必要となる。

【研究に用いられる試料・情報の種類】

カルテ番号、生年月日、手術記録、CT画像、血液検査情報等

【個人情報の取扱い】

カルテ分析を行うが、使用した紙媒体の資料は研究終了後直ちに処分し、データとして残す際も個人が特定されないよう匿名化して分析する。また電話調査への協力は自由意思とし、研究協力の有無による患者様への不利益はない。

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院　担当者名：外科　堀江博司、心臓血管外科　中須昭雄

沖縄県うるま市宮里281番地

TEL：098-973-4111 （代表）